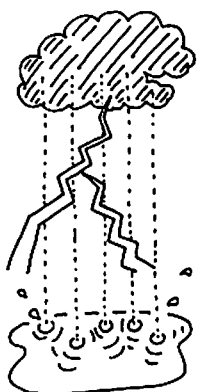


黒雲・雷・にわか雨・虹を体感！

札幌市立山鼻南小学校 栗原千鶴子

冬の雪だけではなく、季節の自然現象のすごさや美しさに、ダイナミックにタイムリーに出会わせることも、大切な生活科の学習です。いつ起こるかわからない現象であるだけに、普段から用意をして、ねらっていきましょう。

夏は、子どもに、タオルと着替え一式を常に教室に用意させておくといいでしょう。



風邪をひかぬように、体を拭いて、着替えをしっかりとさせましょう。

こんな体験をすると子どもはこうなります。

夏の蒸し暑い日、黒雲がわいてきて、急ににわか雨が降ることがあります。



即、授業をやめて、教室の窓を開け、にわか雨の降り方、強い雨水が土をえぐる様子、校庭に水たまりができていく様子などを見せます。



雷の閃光の数秒後に、落雷音が鳴ること、その秒数が大きい程、遠くに落雷していることを知らせると、恐怖心がある子どもも安心して、秒数を数えたり、閃光の美しさに感動。



外に出て、にわか雨をシャワーのように浴びて、心地好さを体感させます。



雨上がりの虹は、感動ものです。滴の付いた花や蜘蛛の巣もまた美しい。

- ★夏の季節感を強く味わう
- ★自然のすごさや美しさに気付く
- ★雲・雨・雷・虹の関係を意識し始める
- ★雲の形や色に着目し始める
- ★雨や雷を恐れない、たくましい子どもになる



4年生の理科『水のゆくえ』の学習にも生きる先行経験となります。

